

各地の話題 涌谷町



2020年9月25日号掲載

防除ラジヘリ 1200ヘクタール

㈱アグリム代表取締役の白幡弘征さん（40）は、涌谷町大谷地地区の3代目農家。小さい頃から両親の農業を手伝い、トラクターやコンバインなどの農業機械に慣れ親しんだ。農業高校卒業後は農業大学校に進学し、当時栽培していた菊について2年間専門的に学んだ。

しかし、農業大学校を卒業して間もなく、中国の菊の輸入が解禁され、採算が取れなくなり、栽培を中止した。同時期、涌谷町で防除用ラジコンヘリコプター操縦士の募集があり、少しでも家の収入につながればと思い応募。大勢の中から選考を通過し、涌谷町第1号の操縦士となった。今では千葉県や秋田県にも出張し、年間1200haもの防除や追肥を行っている。

就農当初、水稻の作付面積は4畝ほどだったが、現在では10haにまで拡大。経営する法人では他にも大豆、大麦、はと麦などを生産し、合計作付面積は約20ha。白幡さんは「さらに経営規模を拡大していきたい。先を読んだ経営をすることが大事。新しい技術にも積極的に挑戦していきたい。」と語り、祖父母の代から続く地域からの信頼を土台に、将来を見据える。



【記事提供：涌谷町農業委員会】